



2025年1月

栃木県テニス協会 理事長 吉井正光

TTA レポート(No.133)

新年あけましておめでとうございます

旧年中は多大なるご支援を賜りありがとうございました。

2024年を振り返りますと、最大の報告事項として国民スポーツ大会佐賀で成年女子が優勝したことです。また少年女子が8位という好成績であったことも素晴らしかったです。男子においても1回戦を突破しベスト16入りできたことは今後に期待を抱かせる事と評価して良いのではないのでしょうか。

さて、TTA としての1年間は従来どおりの事業が滞りなく実施できたことに加え、普及事業の充実があったと感じています。その中で障害者との交流が初めて実施できました。これは地元新聞に記事が掲載されました。今後は障害者スポーツにも関わっていけたら TTA 会則に掲げた「テニスの普及・振興・競技力の向上を目指し、以て県民の心身の健全な発達に寄与する」ことにつながるのではないかと思います。

2025年の具体的な活動方針は、従来どおりの事業を継承するのではなく、新たな発想で魅力ある事業を展開していきたいと考えています。それには魅力ある大会とは何かを TTA 全体で考えて実行していくことだと思います。事業の企画、遂行を複数人で行いそれを TTA として責任を担保するという態勢で臨みます。

これらを実現していくには意思決定の過程を明確にしていくことが大切で、内部組織の意思疎通を良くしていかなければなりません。これには報告・連絡・相談の大切さを再認識し事業を進めていきたいと考えています。自らを見直し変化を恐れず強い組織づくりに邁進します

今年は巳年です。巳(蛇)が脱皮をすることから TTA が自らの殻を破り新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢を示していければと思っています。

